

The background of the cover is a dense arrangement of various ancient pottery items, including bowls, plates, and fragments, in shades of brown, tan, and black. A single, vertical wooden slip tablet with some dark markings is positioned centrally, standing upright. The title and subtitle are overlaid on the top half of the image.

# 小曾根遺跡

— 第7次発掘調査報告書 —

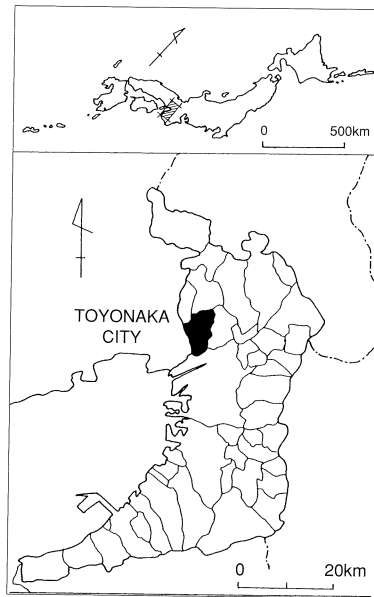
平成15年(2003年)3月

豊中市教育委員会



# 小曾根遺跡

— 第 7 次発掘調査報告書 —



平成 15 年 (2003 年) 3 月

豊中市教育委員会

## 序 文

豊中市は大阪平野の北西部に位置し、緑成す千里丘陵と猪名川によって形成された肥沃な沖積平野を抱え、自然環境に恵まれた良好な地域であります。この恵まれた環境を生活舞台として古来より人々が活動を続け、大地には多くの足跡が刻まれています。しかし、20世紀はじめごろからは商都大阪のベッドタウンとして、また地勢的な条件も加味され、交通の要衝として開発が進められ、特に戦後においては急速に近代的な都市へと変貌を遂げてまいりました。

今回報告する遺跡は千里丘陵の南端、低位段丘の下方に広がる沖積平野上に位置し、弥生時代と中世を主とした複合遺跡であります。弥生時代においては勝部遺跡同様、いち早く弥生文化を取り入れた地域であることが明らかになり、それに続く中期の墓地も確認されました。一方、平安時代後半から中世にかけては、集落の一端を確認し、呪符木簡や生活用具の出土によって、当時の人々の営みを垣間見ることができました。

このような発掘調査も、多くの方々の協力によって初めて実現されるものであります。このたびも同様であり、発掘調査におきましては、諸先生方にご指導を賜り、土地所有者ならびに近隣の方々には多大な協力をいただきました。さらに文化庁、大阪府教育委員会そして関係機関には、格別のご指導とご配慮をいただきました。

このような各方面の方々のお力添えにより、文化財行政が一層推進できますことに対し、皆様に厚くお礼申し上げますとともに、これからの市政と市民生活に、このような報告書が少しでもお役に立てるならば望外の喜びであります。

平成 15 年（2003 年）3 月

豊中市教育委員会  
教育長 浅利敬一郎

## 例 言

1. 本書は、豊中市北条町1丁目179番地で実施した発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査は、本市教育委員会社会教育課文化係が実施し、文化財担当職員柳本照男が現地を担当したが、橋本正幸氏をはじめ多くの方々の協力を得た。
3. 発掘調査は、1983年(昭和57年)10月7日から11月22日まで実施した。
4. 本書の作成にあたって、製図・拓本では青木博子、尾上朱美、高尾好美、長谷川幸恵、原野照子、森本明子等の協力を得た。また本書の執筆は柳本が担当し、編集は柳本・浅田尚子(埋蔵文化財担当嘱託)で行なった。遺物写真は法制文書課市史編纂係(撮影は楠華堂内田真紀子)から借用した。  
尚、出土遺物の記載に当たって、弥生土器は『弥生土器の様式と編年—近畿編Ⅱ—』木耳社1990、中世遺物は『概説中世の土器・陶磁器』真陽社1995、木製品は『木器集成図録—近畿古代篇—』をそれぞれ参考にした。
5. 遺物実測図の遺物番号と写真図版の遺物番号は統一してある。
6. 挿図の方位は磁北である。
7. 出土遺物について、下記の方々から有益な助言をいただいた。  
宇野隆夫(国際日本文化研究センター)、宇治田和生(枚方市文化財研究調査会)

## 本文目次

### 序 文 例 言

第1章 遺跡の位置と環境 .....	1
第2章 調査の経緯と経過	
(1) 調査に至る経緯 .....	2
(2) 調査の経過 .....	2
第3章 試掘調査 .....	4
第4章 拡張部の調査成果	
(1) 基本層序 .....	10
(2) 弥生時代の遺構と遺物 .....	11
(3) 中世の遺構と遺物 .....	25
(4) まとめ .....	45

## 図 版 目 次

### 巻頭原色図版

#### 木簡類

- 図版 1 遺構(弥生)  
(1) 方形周溝墓検出状況  
(2) 木棺検出状況  
(3) 歯検出状態
- 図版 2 遺構(弥生)  
(1) 木棺 底板と小口板  
(2) 木棺 両小口板
- 図版 3 遺構(弥生)  
(1) 西側小口断面  
(2) 東側小口断面
- 図版 4 遺構(弥生)  
(1) 周溝出土土器と土器棺 1  
(2) 周溝土器出土状態
- 図版 5 遺構(弥生)  
(1) 土器棺 1 検出状況  
(2) 壺棺内出土人骨  
(3) 底部穿孔壺出土状態
- 図版 6 遺構(弥生)  
(1) 石器出土状態  
(2) 鋤出土状態
- 図版 7 遺構(弥生)  
(1) 最終面(第 10 層)遺構の状況  
(2) 柱残存状態(第 10 層)
- 図版 8 遺構(中世)  
(1) 遺構検出状況  
(2) 大型土坑完掘状況
- 図版 9 遺構(中世)  
(1) 大型土坑埋土断面  
(2) 土器出土状態
- 図版 10 遺構(中世)  
(1) 井戸検出状況  
(2) 井戸内部の状況

- 図版 11 遺構（中世）  
 (1) 第1トレンチの状況  
 (2) 第2トレンチの状況
- 図版 12 遺構（中世）  
 (1) 第4トレンチの状況  
 (2) 第4トレンチ溝断面
- 図版 13 出土遺物（弥生）
- 図版 14 出土遺物（弥生）
- 図版 15 出土遺物（弥生）
- 図版 16 出土遺物（弥生）
- 図版 17 出土遺物（弥生）
- 図版 18 出土遺物（弥生）
- 図版 19 出土遺物（弥生）
- 図版 20 出土遺物（弥生）
- 図版 21 出土遺物（弥生）
- 図版 22 出土遺物（中世）
- 図版 23 出土遺物（中世）
- 図版 24 出土遺物（中世）
- 図版 25 出土遺物（中世）
- 図版 26 出土遺物（中世）
- 図版 27 出土遺物（中世）
- 図版 28 出土遺物（中世）
- 図版 29 出土遺物（中世）
- 図版 30 出土遺物（中世）
- 図版 31 出土遺物（中世）

## 挿 図 目 次

第1図	市内遺跡分布図（1：50,000）	vi
第2図	調査地点位置図（1：5,000）	2
第3図	調査地の状況（写真）	3
第4図	調査範囲図（1：600）	4
第5図	各トレンチ 平面・断面図（折込）（1：100）	5～6
第6図	第1トレンチ 出土遺物（1：4）	7

第7図	第2トレンチ	出土遺物(1:4)	8
第8図	第4トレンチ	出土遺物(1:4)	9
第9図	基本土層図	(1:40)	10
第10図	第7層	出土遺物(1:4)	10
第11図	第5層	出土遺物(1:4)	10
第12図	木棺墓	平面・断面図(1:12)	12
第13図	弥生時代上層面	遺構検出図(折込)(1:80)	13～14
第14図	方形周溝墓	出土遺物(1:4)	15
第15図	方形周溝墓・溝・落ち込み・土坑	出土遺物(1:4)	16
第16図	土器棺2	平面・断面図(1:20)	17
第17図	土坑	平面・断面図(1:20)	17
第18図	弥生時代下層面	遺構検出図(折込)(1:80)	19～20
第19図	第8層	出土遺物(1:4)	21
第20図	第9層	出土遺物1(1:4)	22
第21図	第9層	出土遺物2(1:4)	23
第22図	石器類	実測図(1:2)	24
第23図	第6層上面及び柱穴	出土遺物(1:4)	25
第24図	灰層土器群・土坑	出土遺物(1:4)	26
第25図	第6層上面	遺構検出図(折込)(1:80)	27～28
第26図	井戸	平面・断面図(第2トレンチ)(1:20)	29
第27図	掘立柱建物跡1	平面・断面図(1:80)	29
第28図	掘立柱建物跡2	平面・断面図(1:80)	30
第29図	大型土坑	断面図(1:50)	30
第30図	大型土坑	出土遺物・木製品1(1:2)	31
第31図	大型土坑	出土遺物・木製品2(1:2)	32
第32図	大型土坑	出土遺物・木製品3(1:3)	34
第33図	大型土坑	出土遺物・木製品4(1:3)	35
第34図	大型土坑	出土遺物・木製品5(1:3)	36
第35図	大型土坑	出土遺物・土器類1(1:4)	38
第36図	大型土坑	出土遺物・土器類2(1:4)	41
第37図	大型土坑	出土遺物・土器類3(1:4)	42
第38図	大型土坑	出土遺物・土器類4(1:4)	43
第39図	弥生時代の遺構概略図	(1:600)	46
第40図	中世の遺構概略図	(1:600)	47
第41図	大溝検出概略図	(1:5,000)	48